

地元区議の情報紙 27年6月下旬号 No.94号

# とりがい秀夫の地域ニュース

南千住8-3-3-201 電話090(1201)1297

提案・意見は—携帯電話のショートメールを下さい—



## 『オレオレ詐欺』防止に向けて 自動通話録音機の無料貸付始まる 26年度の区内被害額は1億2000万円

荒川区はこの度、「オレオレ詐欺」等を含む特殊詐欺を撲滅させるために、東京都の協力を得て「自動録音機」の設置を無料で行うことにしました。荒川区の被害は昨年1年間で46件発生し、被害総額は1億2000万円にも上がっています。【南千住は8件1700万円超・汐入地区は0件】

電話機に接続するだけで「この電話は、振り込め詐欺等の犯罪被害防止のため自動録音されます。」という内容の警告メッセージが流れ、会話を自動的に録音します。

申込・受付期間—7月1日～8月31日

★対象者は65歳以上が一人でも居住する世帯。★台数は2100台—★申込用紙は区役所・区民事務所・各図書館・各ふれあい館

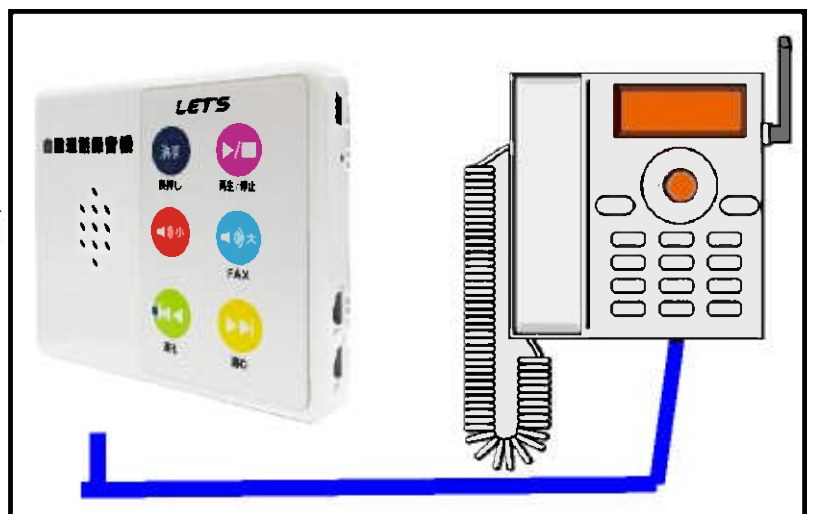
【申込みは区役所・区民事務所】

★装置本体費用は無料。

取り付けは区が実施。

電気代は申込者の負担【年間3200円位】

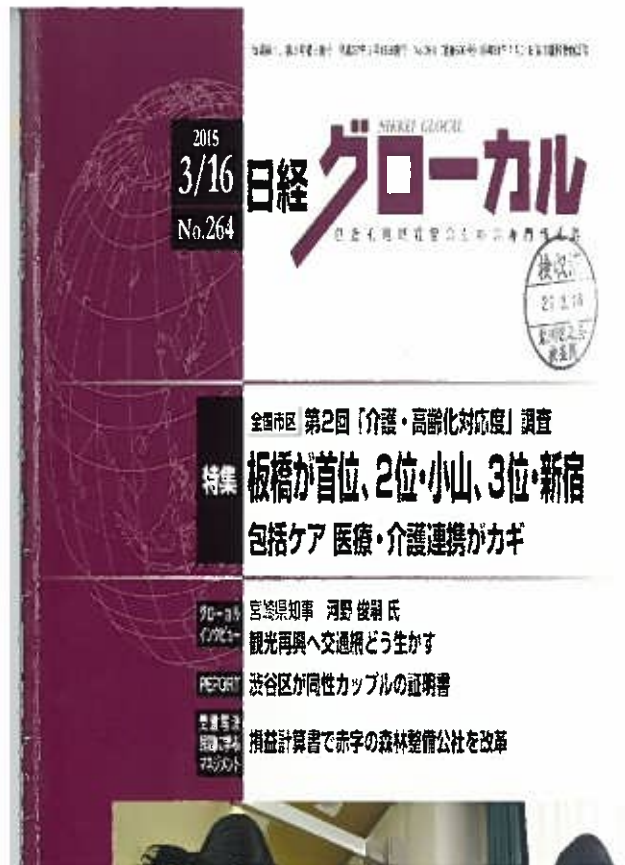
★問い合わせは区役所生活安全課3891-8883【直通】



# 荒川区「介護・高齢化対応度」調査全国4位

## 日本経済新聞社系列研究所発行の調査

日本経済新聞社の産業地域研究所が発行している「日経グローバル」紙が毎年行っている「介護・高齢化対応度」調査の結果がこの度、発表されました。この調査は全国の主要な813の市と区が調査対象となっています。調査項目は（医療・介護）の設問では12項目。（認知症対策）では3項目。その他から10項目の設問がされています。例えば高齢者1,000人当たりの介護職員数とか高齢者1,000人当たりのがん検診受診者数等38項目の設問を行っています。この中で日常的に買い物に出向くのが難しい、いわゆる買い物弱者対策の取り組み等の（生活支援・予防）の項目では全国2位。社会参加の部では14位。



（医療・介護）の設問では37位。総合評価で第4位となりました。

## 荒川区、23区で最も安全な街

### 「キング・オブ・セーフティ」

紹介される。「TSUTAYA【蔦屋】」

インターネットサイト「T-S I T E」で

サイトでは荒川区の年間事故発生件数は400件【このうち大半が自転車盗難】事故発生件数の多い区は2047件という事を考慮すると、いかに事故発生が少ないかご理解いただけたと思います。その中でも荒川区屈指の安全地帯は「南千住駅東口地域」。ララテラスや汐入公園のバーベキュー広場などを紹介しています。

# 地域の情報

## ボランティア活動募集します

ララテラス前での  
ティッシュ配り

7月1日〔水〕

PM4時～5時頃・  
ドナウ広場集合

【交番付近】

主催—  
社会を明るくする運動—

隅田川花火大会  
汐入公園内警備

7月25日【土】

PM4時30分集合  
～9時頃まで

汐入町会事務所集合  
※会場内の警備

## 汐入祭スタッフ

会場内のテント貼  
椅子等の持ち運び

8月1日・2日【土・日】

PM1時～4時頃

汐入町会事務所集合

※ 終了時に軽い軽食

## かよちゃんに 心臓移植を

荒川区に祖父母を持つ1歳の「かよちゃん」に心臓の筋肉が硬くなる難病「拘束型心筋症」が見つかったのが今年の1月。アメリカでの移植を待っていますが莫大な費用がかかります。是非、募金をお願いします。

みずほ銀行新松戸支店

普通—2205992

カヨチャンオスクウカイ

救う会—☎04-7157-7061

# 「池波志乃さん」西日暮里生まれ

## 祖父「古今亭志ん生」落語家一家に生まれる

荒川区は電車に乗ると30分ほどで銀座・赤坂・大手町など都心に到着する等、利便性は高いにもかかわらず、家賃など住居費等安く生活できるため、売れない頃の多くの芸人やタレントなどが住むことが多い町です。その反面、それらの芸人は出世してくるに従い荒川区にいた事を発表しない方も多いのも荒川区の特徴のようです。それらの芸人とは異なる生き方をしているのが池波志乃さんではないでしょうか。池波志乃さんは昭和30年。荒川区西日暮里に出生。祖父は落語界の巨匠五代目「古今亭志ん生」父は「金原亭馬生」叔父に「古今亭志ん朝」という祖父の代から落語家を輩出した家に生まれます。「池波志乃」と言う芸名は父馬生が自ら名づけたと、本人がインタ



ビューで発言していたようです。高校中退し俳優座養成所入所、女優としての活動は1974年「沖田総司」から本格化。妖艶で日本的、しかも婀娜な色っぽさと品格のよさを同時に押し出せる得がたい女優で主に脇役として芝居を引き締める演技・役どころをこなしています。大竹まことや風間杜夫と同時期に俳優座の養成所に所属しており、彼らには妹のようにかわいがってもらっていました。夫・中尾彬との間に子はないが、料理（作る方も食べる方も）・酒・美術（諸分野だが特に日本画）と共通の趣味と強い絆で結ばれた夫婦として知られています。特に酒は親族が酒豪であったこともあってか、池波自身も酒豪であり女性芸能人では太地喜和子らと並ぶほどだとされています。1983年の映画、「丑三つの村」での大胆な演技は話題となりました。料理に関してはかなりの腕前で、中尾が『カレーが食べたい』と言えばインドカレーを作り、『韓国料理が食べたい』と言えばその料理をきちんと用意しているという。女優でエッセイストで料理に精通しているマルチタレントではないでしょうか。